

逗子プロアマフリースタイル選手権 2015

JWA JAPAN TOUR 2015-16 FREESTYLE #1

2015.4.18-19

文 / 霜山 厚
写真 / 関野 健

J100 小林悠馬パーフェクトウイン



多くのギャラリーを集めたパーフェクトコンディションの2日

今年の開催で3年目、3回目となる「逗子プロアマフリースタイル選手権 2015」は絶好のコンディションに恵まれ、素晴らしいパフォーマンスが披露された大会となった。初日、18日の大会オープニングでは多くの来賓挨拶を頂いた。逗子市長の平井氏、葉山町長の山梨氏、神奈川県議会議員の近藤氏、葉山町議会銀の土佐氏、逗子市議会議員の高野氏。また、今回のこの大会には逗子

商店街や商工会、青年会議所などの有志の方々の協力によって、飲食、アクティビティ、ウェアやアクセサリ販売などのブースが出店された。こうした多くの地元の方々の協力によって今までにない賑わいのある雰囲気となり、今後このような形態の大会開催を踏まえた第一歩となった。フリースタイルのみならず、ウインドサーフィン全体を見据えた可能性を見せる大会となった。

大会初日は次第にオンショアが強くなっていく予報だったが、競技開始時にはまだプレニングできるだけの風速に到達していなかったために、トリックマスター、ベーシックトリックの2クラスから競技が開始された。次第に風速は上がり、「プレニングしたくないのに走っちゃう！」なんていう声も聞かれるほどにブローが入り始め、徐々に微風トリックには厳しいコンディションになっていったが、それでもこの2クラスの1シリーズ目全ヒートが早々と成立。

その後、風速条件が整ってきたタイミングで、スペシャルクラスからスタート。今回は僅かに3名の参加に留まってしまったが、プロクラスに匹敵するテクニックを持つアマチュア選手達だけに、繰り出される技のキレイがいい。バルカン、

スボック、グラビー、フラカといった基本技がメインではあるが、スムーズでクイックなムーブを披露してくれた。結果は、富永選手、梅川選手、馬場選手の順となり、プロクラスのトーナメントラダーに組み込まれていく。

オープンB、オープンA、ウイメンズ、プロのクラスも次々に進められて行き、更に風速が上がっていく中、各選手が練習してきた成果を見せていく。オープンBクラスは、通常のムーブに加えカービング系のトリックも採点に加味される。このクラスを制したのは白方選手。スラロームやウェイブの大会にも参戦しており、鎌倉をホームとしている選手。幾度となくフォワード

ループを見せ、フリスタの基本技よりもフォワードで勝利を掴んだと言っていいだろう。2位に入ったのはウイメンズの鈴木香南選手。ジュニアの頃に活躍していたが、ウェイブとフリスタにカムバック。小さな



身体ながら果敢なチャレンジによって2位の座を手に入れた。3位は三浦をホームとする中山選手。

オープンAクラスは常連達の闘いの場となった。元々フリスタはフラット海面でのムーブが中心となっているから、風速の上昇につれて上がってきた波サイズはさぞかし邪魔だったことだろう。本来なら決められるムーブも失敗が多く見られる。アマチュアの選手にとって、波は天敵と言ってもいいかもしれない。そんな中で勝利を手にしたのは鶴巻選手。2位と3位には共に鎌倉をベースとする紅林選手、互井選手が入った。

今回のウイメンズクラス参戦は4名。まだまだ

多くのムーブをメイクできるウイメンズの選手は少なく、更に難易度の高い波のあるコンディションであることから、まだまだ演技にはなっていないと言えるだろう。そんな中でトップになったのはオープンAクラスとのダブルエントリーとなった互井選手。バルカンヤスポックだけでなく、果敢にコノにもチャレンジしていた。2位にはやはりオープンBクラスとのダブルエントリーとなった鈴木選手が入り、3位に永井選手の順となった。

そしてプロクラス。揺るがないトップ2である小林選手、吉田選手の闘いを後ろに控えての1回戦のヒートが始まった。

第1ヒートでは2015年からプロ登録選手となっ

た山本選手が、スペシャルクラスから上がってきた富永選手を一蹴。続く第2ヒートは第2シードの小林選手が梅川選手に対して圧巻の勝利。第3ヒートは大学生プロの橋本選手をベテラン佐藤選手が退け、第4ヒートは吉田選手が、馬場選手相手に余裕の勝利。この結果、セミファイナルは山本選手 vs 小林選手、佐藤選手 vs 吉田選手の2ヒートとなった。下馬評通りと言っては失礼かも知れないが、ファイナルへ勝ち上がったのは小林選手と吉田選手。山本選手と佐藤選手は3位決定戦に廻る。

3位決定戦は安定のある演技を見せた山本選手が、ミスが目立つ佐藤選手に勝利、ウイナー



スペシャルクラス優勝の富永竜平選手



オープンAクラス優勝の鶴巻猛選手



オープンBクラス優勝の白方優吏選手



ウイメンズクラス優勝の互井千恵子選手



トリックマスタークラス優勝の杉匠真選手



ベーシックトリッククラス優勝の須藤貴裕選手

ズブラケット3位のポジションに着く。ウイナーズのエリミネーション終了後にはルーザーズエリミネーションが行われることが決まっていたため、この時点の順位は暫定。

ファイナル進出の両選手は、難易度の高いムーブを豊富に持つ小林選手に対し、大きなアクションと高い確実性を持つ吉田選手。お互いの特徴は熟知している選手同士の闘い。小林選手は昨年PWAに参戦し、今年も同様の予定。また、最近カリブ海のボネールでトレーニングを積んできたことも自信を裏付けているように見えた。シャカ、クロ、ファネル、スポックなどギャラリーに対して、ジャッジに対してしっかりとアピールしながら確実に得点を重ねていく小林選手。一方の吉田選手も、予想されていた通りにキッチリとファネル、フラカ、シャカなどをメイクしてくる。今年度からプロクラスのジャッジシステムが変更となっており、片側5ムーブまでしかチャレンジできないから、失敗は許されない。しかも、片側2ムーブずつのピックアップとなるため、左右のムーブをバランス良くこなしていくことがとても大切。全体的なバランス、ムーブの難易度、アピール度のそれぞれの面で、ヒート時間が進むにつれて差が出てきていた。そしてなんと、吉田選手がヒート中に右肩を脱臼するアクシデントに見舞われた。残り時間は僅かなところではあったが、衝撃的な光景となった。そして、ウイナーズの暫定トップに立ったのは小林選手。

しばしのインターバルの後にルーザーズエリミネーションが開始。大きな逆転劇は見られずにヒートが進み、吉田選手は当然のことながら欠場。ファイナルヒートは小林選手と山本選手の闘いとなった。共に逗子海岸をベースに活動しているために、ホームグレンデというアドバンテージは存在しないが、両選手を応援するギャラリーが多いため、声援が力になったことだろう。

暫定トップの座で、勝ち上がってくる選手を待っていた小林選手に力みや緊張は見られない。一方の山本選手にはやはりチャレンジャーとしてのプレッシャーが掛かっているように見受けられる。それでも自身の持つ技術を淡々と披露していく演技には焦りも諦めも感じさせなかった。「やれること、やるべきことをやる」というメンタリティだったのだろう。結果は大きな差だったが、山本選手の健闘が光る。余裕の表情で勝利のコールを受けた小林選手の演技は、誰も寄せ付けない安定感とアピール感が満ちあふれていた。今現在この日本に小林選手を超える選手の影すら見えない状態だ。圧巻、圧勝。パーフェクトな演技によって勝利を得た小林選手には、PWAでの活躍を期待したい。



プロクラス優勝の小林悠馬選手
CULO



プロクラス2位の山本卓史選手
SPOCK



プロクラス3位の吉田洋海選手
SHAKA

微風の大会 2日目はビーチイベントも大活躍

大会 2日目は終始微風の1日となった。この状況は気象予報通り。もしかすると夕方近くにサーマル的に風速アップの可能性が残されていたが、途中雨がパラつくなど気温が上がりきらないためにサーマルの期待も薄れていた。トリックマスターとベーシックトリックの2クラスのヒートが次々に消化されて行き、トータル3シリーズの総計によって成績が付けられることとなった。

トリックマスタークラスは、この春から中学生となった逗子の杉選手。2位もまた中学生の津野選手、3位には富永選手が入った。ベーシックトリッククラスの優勝は、逗子をホームとする須藤選手。2位には鎌倉の勝股選手、3位は千

葉のプリスタレディ永井選手となった。

エリミネーション毎のインターバルやランチタイム休憩など、ゆっくりとヒートは進められていった。微風トリックのクラスにエントリーしていない選手も大勢いるから、通常であれば少々時間を持って余すところなのだが、今大会では多くのブース出店が本領を發揮。勿論、恒例のプロ選手によるクリニックも行われ、様々なアドバイスに耳を傾けていたが、食事のブースには長い列ができ、的を狙ってボール蹴るキックターゲットも大人気。ビーチバレーあり、ビーチサン飛ばしありと一般のギャラリーだけに留まらず、多くの選手達がアクティビティを楽しんでいた。こうしたイベントは大

会実行委員会や協会だけではなかなか行えない。競技スケジュールをきちんとこなすことが大前提であり、コンディションや選手の様子に終始意識を向けているために余裕がないのも事実。だからこそ、地元の方々の有志による協力には感謝。大会の在り方、地元との共存などの課題をクリアしていくための第1歩となった。こうした経験が今後の大会に活かされ、より活気のある多くの選手やギャラリーが楽しめるようになって欲しいと切に願う。

レポート：大会実行委員 霜山 厚



プロクラス

1位小林悠馬、2位山本卓史、3位吉田洋海、4位佐藤秀雄

□協賛
(株)ウインドプランニング
医療法人 恕修会
築地 江戸一
Salon de Ray
PANTAI
CB SURFERS
Hiro's sport support
chami

□サブイベント協力
mundo
POLA
tre
nagomi
逗子フェアトレードタウンの会
La Vespa
osteria michi-kusa
逗子 BBQ 実行委員会
逗子 30's プロジェクト
ビーチバレー

逗子葉山 2020 協力
逗子市中央商店街連合会
逗子市商工会青年部有志
逗子葉山青年会議所有志
逗子市ふれあい市場実行委員会
逗子銀座 "春のしおかぜ広場" 逗子みやげ
まつり実行委員会
市民のみなさま



スペシャルクラス

1位富永竜平、2位梅川努、3位馬場信行



オープン A クラス

1位鶴巻猛、2位紅林裕貴、3位互井千恵子
4位津野健介



オープン B クラス

1位白方優吏、2位鈴木香南、3位中山和久
4位須藤貴裕



ウイメンズクラス

1位互井千恵子、2位鈴木香南、3位永井千尋
4位碓陽子



トリックマスタークラス

1位杉匠真、2位津野健介、3位富永竜平
4位佐野彰



ベーシックトリッククラス

1位須藤貴裕、2位勝股海斗、3位永井千尋
4位篠原孝弘